

## あの人あのことども — 体育教室39年のマイ会議メモより —

松井利幸  
保健体育講座

### Reminiscences of Course of Physical Education, Health and Sport

Toshiyuki MATSUI

#### まえがき

学部卒業，1年胸の病を治療，2年目に県立（刈谷）高校奉職，3年目に縁あって当大学体育教室に着任。豊田市在住ゆえ，てっきり隣接市にある岡崎分校との思いがはづれ，名古屋分校配属であった。場所は砂田橋，附属校の隣，当時は車で1時間少々で行けたが，車，信号の多さで今では隔世の感がある。1年で刈谷統合と聞き，どこになるのか名鉄本戦の南側を探しまわった記憶がある。

さて，着任以来39年，今定年退職にあたって，改めて過去を振り返ってみると，よくも居られたことと思うほかに，いろいろな感慨が湧いてくる。このことは，幸い手元に残っている過去の教室会議の資料，メモに一通り目を通した時，ことさら強くなる。特に一緒に勤めた同僚，あの先生この先生が浮かび上がり，あんなことこんなことがあったと思い出されます。本稿はそれらのメモより，当教室の歴史的一幕として何か綴っておくのもよいのではないかと思います，寄稿する次第である。なにぶんにも，資料不備，断片的で意味不明，また，私的な表現があるかもしれないが，お許し願いたい。

#### 昭和44年度（S44）

奉職；なんと名古屋分校，若干24歳

- ・スクールバスでの合同授業（岡崎，名古屋を行ったり来たり）

- ・分校教官会議（全員），教授会（教授だけ），助手会（任意の会？）
- ・教室会議，卒論指導（ともに岡崎分校で）
- ・大学統合，統合移転準備
- ・全共闘学生による建物封鎖，解除（機動隊構内導入（名古屋分校））註1）
- ・スポーツテスト，ph理論Ⅰ，Ⅱ，スケート，相撲，山海遠泳，スキー，教室学会

#### S45

- ・刈谷井ヶ谷統合；4月
- ・個人研究室（相部屋有り）及び演習室，2実験室（下っ端の竹本，松井で強く要望し，生理，保健でそれぞれ確保したことには大きな反発があった）
- ・初期体育施設
- ・教授会，三部教授会
- ・（天野Y先生，隣の養護教諭養成所に着任（11月））

#### S46. 47

- ・米田先生着任，天野Y先生移籍着任（+松井で岡崎高校三羽ガラス）
- ・教室会議，予算（S46約600万円，S47，約790万円）
- ・純増定員（S48，1検討始まる）
- ・ハンドボールコート整備案（S47，12）
- ・小学校学生定員60名増による建物増，体育棟3階を決定（S47，9）
- ・第2体育館の構想案（S47，6）
- ・教室学生定員7名増（S48から）

- ・教官定員1名純増（S48?3月、教授枠でくる）
- ・卒論部門（S47, 原理・歴史20万, 方法（指導・管理）60万, 生理・保健50万円）
- ・個人研究費（S47, 10万円）
- ・大学史編纂（註2）（S48, 教室の歴史あり）
- ・教育実習（2年と3年時, 3年と4年後期時）
- ・ph 水泳のノルマ（S46?50m:同一泳法, 一種目, 5~6回水泳授業を）
- ・入試実技試験（S46, 鉄棒, 跳び箱, マット, バスケット, サッカー, 80mハードル, 走り幅跳び）

#### S48

- ・ph, スポーツテスト（2時間）+水泳（4~5時間）+2種目, Ph理論（7~8回）
- ・教室予算, 約900万, 個人10万, 旅費3万満たず
- ・トレーニングセンター新設要求
- ・美濃部先生後任人事検討（助手）+純増分新規を検討
- ・体育科スキー非常勤市野先生
- ・体育教室将来計画検討委員会設置（丸地, 中林, 天A, 松井, 米田）

#### S49

- ・稲垣, 吉田両先生の同時着任, 歓迎会
- ・卒論部門4つに; I 体育原理, 体育史, 体育社会学, II 体育方法, 体育心理, 体育管理, III キネシオロジー, 運動生理学, 解剖, IV 保健, 衛生（将来検案）
- ・カリキュラム改定案（同上より）
- ・定年退官（岡部）の補充について（村松主任より）
- ・教室サロンなるもの承認
- ・採用条件検討? 理論（社会学, 衛生学, 管理学）, 実技（陸上, 野外キャンプ, 水泳, 野外キャンプ）
- ・60名純増分は「助教授」で, また, 岡部先生後任は助手で（6月）
- ・入試実技の検討, 現行通り, 一人一種目採点変わらず
- ・水泳実習9人担当（山本八先生非常勤）
- ・10月, 増築分建て新申請,
- ・教科教育研究推進, 傘論??
- ・11月, 体育棟工事云々
- ・忘年会, 泊まり込み（三河ハイツ）
- ・川島先生, 学生部長任期満了

- ・後任人事, 「助手」, 「体育学（水泳, スキー, テニス）+保体理論」, 29歳未満を
- ・研究室配置, 一人一室?（全学建て新增つく）
- ・送別会（岡部, 米田）
- ・入試実技（バスケット, 跳び箱平均台, マット, 鉄棒, ダンス, ハードル, 走り幅高, サッカー, バレー）, 9種目全員必須, 採点1名, 男子4班, 女子3班のローテーション。志願者男229, 女80, 系309名

#### S50

- ・寺沢教室主任
- ・永田先生着任（+竹本, 稲垣先生で時習館高校三羽ガラス）
- ・教室予算, 1150万, 個人20万
- ・6月, 体育館新営について
- ・採用（純増?）人事, 体育社会学取り下げ, 水泳・助手に
- ・合宿研修
- ・卒論発表会, 全体から部門ごとに時間をずらして
- ・市野先生着任（11月）
- ・体育科スキー実習, 8人担当
- ・大学院検討委員会報告, 10月
- ・学生課スキー, 第3期2/27~3/3, 職員福祉スキー
- ・人事公募3名有り, 1月
- ・大学院構想（2月）
- ・来年1名純増, 教授, 定員検より,
- ・PH, S2Aの実施方法について
- ・定年退官への選別金, 本俸の2%を, （佐々木先生）
- ・佐々木先生後任補充の件, （西洋体育史, 体操）稲垣先生転出の件
- ・教室紀要, 編集発刊決定
- ・川島先生, 3部主事内諾
- ・岡部先生危篤, 竹本先生の近況, 佐々木先生+稲垣先生送別会
- ・入試志願者, 男355, 女154, 計509名
- ・大学院構想具体化

#### S51

- ・合屋先生着任, 歓迎会（4月）
- ・研究室割当, 旧稲垣研に市野, 合屋先生
- ・中林先生入院, 県がんセンター（4月）

- ・稲垣先生後任補充,「西洋体育史+体操」で要望書提出
- ・ph 水泳, 最低到達基準制定, 1年生; 1泳法40メートル, 2年生; 40メートル2泳法 (プール横を往復), (スポーツテスト存続中)
- ・51年度増員人事について
- ・大学院をS52年度概算要求, 保健体育教育専攻開設授業科目(案)審議(保健体育教育, 体育科学, 運動科学, 保健科学の4講座)
- ・大学院担当予定者の個人調書準備(養護教育教室との合同設立)
- ・中林先生葬儀について(6月)
- ・概算要求, トレーニング室+大学院申請?
- ・欠員補充(中林),「運動生理学+助手」で公募(社会学, 助教授は没)
- ・教員認定試験存続中
- ・大学院概算要求は, 没にはならなかったが, 可能性有りとして, 来年やり直せとのこと(スタッフの問題は, 体育と理科にはなかったとのこと)(9月)
- ・3階増築後の研究室配置, 山田+大西, 米田+市野2部屋同室の案あり
- ・野々宮先生着任, 紹介(10月)
- ・卒論中間部門5つ(原理+歴史+社会, 管理, 心理+方法, キネ+生理, 保健)
- ・人事公募状況, 教授, 助手とも再公募に(2月)
- ・ph理論テキスト増刷及び改訂について
- ・第一次共通テスト導入に伴う, 第二次入学試験の検討作業はじまる
- ・山田先生, 附名小校長候補に

## S52

- ・教室主任, 大西先生
- ・鬼頭(4月), 影山(5月)両教官着任, 歓迎会
- ・教室予算1900万強; 個人研究費一人20万円, 部門費(非実験20万, 準実験25万, 実験30万×教官数)
- ・大学院設置について, 講座, 授業科目等組織編成
- ・週休二日制?
- ・採用人事(寺本後任), 9月教授会で職種決定を目指す
- ・米田教官海外出張, ワシントン州立大, ミネソ

タ州立大

- ・教室学会研究発表, 大学支部も割当(昨年永田, 今年松井)
- ・ph テキスト, 人事, 合宿研修(2年生+4年生)
- ・大学全体の入試, 運動障害のある受験生への対応, 健康検査立ち会い(不適格基準「dその他本学の教育課程の履修が困難であると判定される運動障害・著しい疾患及び異常を有する者」)
- ・教室紀要 no.2
- ・共通一次テスト, 監督者リハーサル
- ・寺本先生後任補充人事の公募条件(教授, 運動生理)
- ・卒論発表, 7部門ごとに5日に分散して開催
- ・第二体育館の建設について
- ・寺本先生送別会について

## S53

- ・教室主任, 川島先生
- ・長澤先生着任, 歓迎会(4月)(いわゆる大学院人事としてのマル合教授)
- ・ph, スポーツテスト及び水泳のノルマ継続
- ・教室コロキウム(談話会)発足
- ・教室の教官数19名(当時, これが学内定員であった)(文部省定員は22名と初めて明らかにされた, このあと長年にわたる3名定員減の苦難の教室運営が続くことになる)\*\*\*
- ・第二次入学試験, 実技内容の検討(川, 竹, 吉, 天y)
- ・第二体育館6月入札, 7月着工
- ・大学院発足(本学で最初に設立した4専攻の一つであった), 6月初旬国会通過? 6月下旬入試実施
- ・ph テキスト改編
- ・第二次入試実技内容改訂, 必須: 100m走, ハンドボール投げ, 立ち幅跳び, 懸垂。選択種目: 陸上, 体操, バスケ, バレー, サッカー, ダンス。理論有り, 試験官は一人
- ・味岡教室事務官の見舞い
- ・次期, 丸地先生学生部長就任? 川島先生附属学校部長? 寺沢先生附属幼稚園長?

## S54

- ・教室主任, 天野A先生
- ・昨年入試受験者数, 男230名, 女87名, 計317名,

入学者74名

- ・教室予算2500万
- ・入試検討委員会（丸地，松井，米田），BASIC（持久性，敏捷性，パワー）と技能に
- ・公開講座「親と子の水泳教室」
- ・入試実技，一日目午後，ベーシック必須（持久性（1500m or 1000m走），敏捷性（置換え往復走），パワー（垂直跳び，ハンドボール投げ，50m走））＋二日目午前午後，技能17種目より一つ選択（陸上，機械，バレー，サッカー，バスケット，バドミントン，ダンス，水泳，軟庭，卓球，相撲，柔道，ハンド，ソフト，硬庭，ラグビー，剣道），複数試験官で採点，負荷心電図云々，試技綿密に
- ・教室カリキュラム検討
- ・山田先生後任人事について

#### S55

- ・教室主任は影山先生
- ・複写機の購入について，ゼロックス？
- ・教室カリキュラム検討（論文演習ⅠⅡ，保健体育学演習 ABCD，スポーツ演習 ABCDE），大学カリキュラム検討
- ・日本体育学会東海支部，事務局を引き受ける
- ・採用人事，「助手」，「衛生学及び体操またはダンス」から「衛生学・公衆衛生学」，さらに変更して「保健体育学」に
- ・山田先生，附属名古屋小学校校長終了
- ・名古屋オリンピック時の練習会場打診？
- ・レスブリッジ大学との交流
- ・来年度松井は内地研究員として10ヶ月留守に
- ・山田先生最終講義，送別会

#### S56

（松井，内地留学として名古屋保健衛生大学衛生学教室に所属し，教室会議録なし）

- ・教室主任，永田先生
- ・坂田先生着任（5月，巷では，松井の後任補充との噂があった…）
- ・長澤先生定年退職

#### S57

- ・教室主任大西先生
- ・春日先生着任（長澤先生後任）
- ・川島先生後任人事について

- ・慶弔規定（案）について
- ・入試健康検査の基準について，緩和の方向へ
- ・後任人事（川島），「助手」「原理」（案）保留，その後「体育原理」（7月）（教科教育の新設 or 傘論の論議，結局新設は無し），実技（舞踊 or 陸上）が望ましい
- ・竹本先生，豊橋女子短期大学へ転出発表（11月）
- ・竹本助教授後任補充，「教授」，「運動生理学」？
- ・教官定員削減について

#### S58

- ・寺沢先生，幼稚園長終了挨拶
- ・大学入試の健康検査基準，全面的に撤廃の意向へ，教室の受け皿用意回答
- ・ワープロ購入？講習会開催
- ・ph スポーツテスト，水泳ノルマ存続
- ・東海体育学会事務局返上を申請
- ・川島先生後任，岡田助手決定（9月）10月着任
- ・教室主任，大西先生より寺沢先生に変更（大西先生倒れる！10月）
- ・竹本先生後任人事難航，職種変更か？
- ・卒論発表会，部門単位から一堂に会して，半日で，卒論要約集300部
- ・後任人事（竹本），公募条件変更，「助教授」「舞踊」に
- ・寺沢先生附属学校部長 or 第三部主事に，
- ・大西先生，休職せず，病気休養とする

#### S59

- ・教室主任は丸地先生に
- ・教室事務官，味岡さんから岩山さんへ交代（月水金）
- ・入試実技試験，ベーシック廃止，12種目より2種目選択（案）（主選択，副選択），二審制，（陸上，機械，水泳，舞踊，柔道，剣道，相撲，バスケット，バレー，サッカー，ハンド，ラグビー），
- ・トレーニングセンター設立構想出てきた
- ・小笠原先生，（非常勤講師から専任）助教授に着任
- ・入試実技，基礎的運動能力（背筋力，サイドステップ，持久走）午前，及び運動技能（11種目より1種目選択）午後
- ・岡崎女子短大，スキーバス事故，山本清孝非常勤講師ご逝去，対応種々

## S60

- ・教室予算、約2500万円、個人一律30万
- ・後任人事（村松）について、職種「助手」決定（6月）、理論は「体育心理学」、実技は「剣道、陸上、ダンス」（9月）
- ・大西先生丸2年、休職扱い云々？（10月）、その後休職（61年の1年間）
- ・ph テキスト改訂作業
- ・米田先生、外務省国際交流基金にて、ギリシャ柔道指導に公務出張予定
- ・大西先生対応人事について（自然休職に該当？勸奨退職？肩たたき？）
- ・村松先生、送別会について
- ・丸地先生、次期附属岡崎小学校校長に
- ・大西先生、後任人事検討開始、医学系？教授？窓口松井で進める

## S61

- ・教室主任、寺沢先生
- ・筒井先生、着任
- ・大学将来構想、第一段階（情報教育コース、日本語教育コース）将来計画委員会
- ・後任人事（大西）、「教授」、「衛生学又は公衆衛生」（医師資格を有し——が望ましい）
- ・ph テキスト編纂作業、章、節、項立て
- ・大学将来計画（影山）、新学部、新コース構想？
- ・共通一次試験、刈谷高校会場増える
- ・将来計画委、学部編成検討委員会より、「総合科学部」設置構想出る
- ・卒論発表会、5中間部門ごとに日をずらして
- ・入試実技基礎運動能力テスト、垂直跳び、おじやみ置換え往復走、メデイシンハンドボール投げ、シャトルスタミナテスト
- ・総合科学、人間社会コース「福祉・健康」選修設置試案

## S62 (88)

（会議録見あたらず）

- ・宮崎先生（非常勤）「すもう」終了パーティー（7月）

## S63

（会議録不備）

- ・総合科学課程発足（学内学科体制とも言われた）
- ・水泳実習、山海遠泳、台風11号のため、山海小

プール借用、小遠泳のみ

- ・第二次将来計画委員会第1回開催（11月）、新教室・新部体制検討？
- ・スポーツ演習で岡崎高原カントリークラブでラウンド授業（12月）
- ・合宿研修（スキー）、センター試験（1月）
- ・学生課スキー（一ノ瀬スキー場）中、昭和天皇ご崩御、元号平成に（1月）

## H 1

- ・梅垣先生、着任
- ・将来計画委よりの回答、予算、非常勤、定員増（省令より3名減）など
- ・健康科学選修との相乗り授業について
- ・教免法改訂によるカリキュラム改訂について
- ・大学院、養護教育教室の保健体育専攻からの独立構想出る
- ・水泳実習の反省会、教室構成員のみか専門性重視で非常勤採用か
- ・総合科学への移籍教官のS科目は？（影山、春日+野々宮、梅垣、11月）
- ・寺沢先生併任、野々宮先生在外
- ・ph 反省会（水泳実施は約半分のコース、体力テストはせず、必要あれば）
- ・野外運動関係の集中講義、全員参加の原則見直し、チーフを決めて計画を
- ・入学受験者数、小157（35）、中38（11）、計195（46）名、（ ）内定員

## H 2

- ・教室主任、丸地先生
- ・総合科学、学科申請に伴う教官定員削減案？予算は旧教室体制のまま執行
- ・学年進行年次計画に齟齬が生じる（第二次将来検、新行委員長；総合科学の整理？S62.6：学科として概算要求（85名の教官振替含）するも、課程として認可（純増19、振替21名）され、上記計画が文部省と合意）
- ・第二次将来検と教室との話し合い、一方で、施設の移管（野々宮研、松井研隣の実験室などを健康科学に）
- ・トレーニングセンター構想委員会設置
- ・入試実技、Basic より往復置換え走を廃止（運動技能は11種目のまま）

- ・WG2（ワーキング；入試）より，Basic の労力大，新たに推薦入試の検討
- ・専任教官15名（影山，梅垣，野々宮，春日先生抜け）
- ・WG1（研究）より，部門制提案，決定（体育学系（体育学Ⅰ），行動科学系（体育学Ⅱ），運動学系，保健学系），各自所属希望部門を提出

### H 3

- ・入試実技，Basic を運動技能に含んでとらえる，主選択と副選択2種目で（個人，対人，集団の3群より2群選び，その中から各1種目を（現行））
- ・寺沢先生後任人事について（4月）
- ・第二次将来計画委員長，松井（4月から任期2年，（終了後解散した））
- ・養教の大学院独立の動き，大きく
- ・慶弔規定改定
- ・学校週五日制に伴う授業再編成について（7月），土曜日分を移動
- ・後任人事，「体育史」，「学校保健」，「器械運動」の若手を提案（WG1），「助手」，「体育史」，「器械運動」で決定（WG1 解散）
- ・本教室体育学会40周年記念事業について

### H 4

- ・教室主任，天野Y先生
- ・一般体育（ph）の現状と改革へ向けて，アンケート調査実施
- ・第二次将来検討委員会（委員長松井）解散（9月）
- ・トレーニングセンター本決まり？（9月）（12月）
- ・公募人事4名あるも，再公募とする（次は，実技のウエートを下げて）
- ・S2A 開設方法について，「4領域以上4分の一ずつ」，を「柔軟に対応」へ，さらに「3領域以上」に変更（10月）
- ・「わかしゃち」愛知国体競技専門委員会に，教室主任（天野Y）要請される
- ・卒論発表，4部門順番に，一日がかりで
- ・再公募人事，応募なし？（12月），その後応募有るも，投票で否決（1月），その後，理論；「体育社会学あるいは学校保健」，実技；器械運動が望ましい，に条件変更，2月）
- ・再々公募，社会学 or 学保？器械，ラグビー，

剣道，バスケ？話題に，さらに体育社会学をはずす（実技は一考の余地残す，3月）

- ・推薦入試について提案，ほぼ実施の方向で（2月）

### H 5

- ・積み残し採用人事と丸地先生後任人事あり
- ・推薦入試，定員5名，試験科目案出るも，保留，その後決定（4月）
- ・トレーニングセンター，マシン関連説明会
- ・愛知国体式典（開会式）協力依頼，競技団体旗等を掲げて入場行進，保健体育科生51名，受諾（松井担当）
- ・高橋先生，採用決定，1月着任，歓迎会，新年会
- ・ズレ問題に関わる概算要求について
- ・第三部主事，天野A先生
- ・後任人事（丸地）の公募条件について，毎回のごとく会議がなされた，一方，健康科学影山先生の後任が，社会学との情報もあり，様子見とした

### H 6

- ・教室主任，松井
- ・後任人事（丸地），職種「助手」とした（4月），領域は体育学Ⅰ部門で（5月）
- ・教室事務，中村さん担当（過去，味岡，岩山，今泉，浅岡さん，その後，事務体制変更により，教室事務いなくなる）
- ・教育課程改編，ph の位置づけが課題に，必須3単位，選択1単位案提出
- ・大学入試，前・後期分離分割制度検討，分割せず前期を要望するも，後期試験（小8名分）を課せられる
- ・後任人事，応募あるも，教室内投票結果，再公募とした（12月）
- ・丸地先生退官記念パーティーについて
- ・再公募人事，「助手」，「体育社会学」，いわゆる理論の一本釣り（12月）
- ・天野Y先生，定年10年を残して，勸奨退職申し出（2月）
- ・ph テキスト構想案
- ・次期附属岡崎小学校長，米田先生

## H 7

- ・文部省より18, 19, 20歳で, 男女計150名分のスポーツテストデータを依頼され, 受諾
- ・カリキュラム再構想案
- ・助手採用決定, 赴任時期9月に, 勸奨退職の件は, ペンディング (5月)
- ・スポーツ科目の運営, 担当について, 体育と健康科学両教室でやる, 負担?
- ・甲斐先生着任 (9月)
- ・天野Y先生後任人事検討 (11月), その後, 「助手」, 「器械運動」とし, 今度は実技一本釣りに
- ・筒井先生, 在外研究員決定, 天野Y先生, 勸奨退職決定
- ・ph 理論, 次年度より削除となる, sp (スポーツ) I II III の性格, シラバス, spIV の要望
- ・次期教室主任選出選挙, 何回やっても二人で同数, 主任を交えて協議に

## H 8

- ・教室主任, 市野先生
- ・教室予算, 個人45万, 部門一人当たり30万円 (設備充実費減額)
- ・各研究室にエアコン導入を検討, 実施に
- ・大橋先生着任 (9月), 歓迎会
- ・sp 科目, 集中のコースを, ゴルフとスキーの2種目に, テキスト作成?
- ・次期附属図書館長, 天野A先生 (12月)
- ・次期附属養護学校校長, 松井 (3年任期)
- ・岡出先生, 筑波大へ4月 or 7月転出予定?
- ・採用人事, 「助教授又は講師」, 「体育原理」で検討, その後決定 (2月)
- ・推薦入試, 小4, 中4名定員を, 小中合わせて8名に? また, 種目を限定 (高等学校学習指導要領に基づく17種目に) (認められず)

## H 9

- ・採用人事, 応募8名 (4月)
- ・新任着任, 10月予定
- ・教室学会50周年記念について
- ・事務の集中化が論議される (各部での教官, 学生へのサービス低下か?)
- ・三原先生着任 (10月), 歓迎会, 忘年会

## H10

- ・教室主任, 米田先生

- ・政府の行財政改革の一貫として, 250名の学生定員減を本省へ打診 (5月), その後160名減に (9月), 大学院の夜間コースも検討
- ・議員立法による, 小・中教員免許取得希望者の介護等体験始まる, 1年生対象で, 附属養護学校で先行的に試行した (「全国初」次年度から県立養護を含めて全員に)
- ・大学院博士課程設置準備委員会の動き
- ・体育教室? 学生定員, H12は, 小26中6, 計32名に減 (推薦小3中2)
- ・新々教育課程改革原案は, スポーツ3単位が検討 (spIVなし), セメスター制? キャップ制?
- ・新カリキュラム検討

## H11

- ・大学の新体制として, 総合科学課程 (新学芸課程) は, 教員養成諸課程と統合し, 健康科学は体育と一つの教官組織 (保健体育講座) となった, 教官数20名
- ・野々宮, 春日先生また一緒に, 村松, 鈴木, 杉浦先生新たに一緒に
- ・一方, 教育組織は, 教員養成 (小, 中) 及び学芸・生涯教育課程 (スポーツ・健康) の二つとなった
- ・講座代表, 村松先生, 専攻主任, 米田先生, コース主任, 野々宮先生
- ・ゆえに, 保健体育 (新) 講座会議が新たに発足 (健康科学と統合) (4月), (第1回講座会議は12月), なお, 議事により教室会議は続行
- ・次年度新カリ, 「情報教育入門」, 「専門教育入門」, 旧カリ spIV は開講せず
- ・講座入試, 学生定員, 体育小; 推薦 6, 前期 11, 後期9, 体育中; 推薦 0, 前期 6, 後期 0, 体育計32名, スポーツ・健康; 推薦 6, 前期 15, 後期 9, 計30名の案を提出 (10月, H13から)
- ・次年度副学長 (創造科学系主事) に永田先生
- ・大学入試の健康診断基準全廃の方針有り (入選研), 教室も了承 (2月)
- ・卒論指導は, 部門制廃止, 教官個人研究室単位とする

## H12

- ・講座代表 (村松), 専攻代表 (米田), コース代表 (春日) (松井附属長終了)

- ・採用人事の進め方（5月）
- ・講座予算約1900万，個人72万円×20人
- ・天野A先生退官行事
- ・採用人事案，（講座定員23名，現員20，天野退官，永田退官）2名採用案，
  - 1）「保健体育科教育」「助教授又は教授」（現場経験がじゅうぶんある人）
  - 2）「学校保健」「助手又は助教授」（医師であること）（11月），その後，1名補充の決定有り（12月），大学院担当マル合，合審査も同時に可となる
- ・後任補充人事（天A），職種「助教授又は助手」に決定（投票）（12月），専攻は「保健体育科教育」に（1月）（教科教育傘論から柱として立てていく方向に？）

#### H13

- ・講座代表，米田先生
- ・後任人事（天A），応募23名，20名合致，絞り込みを
- ・新規純増人事1名，可と認められる（H14採用），職種「助手」決定（5月），（純増），その後，専門「健康管理学」（7月）
- ・主免実習，基礎実習，介護等体験連絡指導教官依頼
- ・講座サバティカル制度
- ・採用人事（純増），15名応募有り（10月），その後，再公募に（12月）
- ・次期，内地研究（高橋），若手在外（上原）
- ・永田先生退官について
- ・次期幼稚園長，野々宮先生
- ・再公募人事（純増），「助手」，「陸上，ダンス，水泳」に（1月）
- ・後任（永田）人事，「教授」，マル合，「保健体育科教育」要望（1月）

#### H14

- ・講座代表，合屋先生
- ・森先生着任（4月，天A後任），歓迎会
- ・採用人事二人「教授・保健体育科教育」（永田）及び「助手・実技3種目」（純増）公募中
- ・新規に助教授枠が1ついた（H15採用可），計三つの採用人事が併行
- ・助手20名応募（純増）も，不合致，書類不備も

- あり，保留（5月），その後2名合格，順位付け（6月）
- ・教授5名応募有り（永田）
- ・助教授採用人事（純増あと）公募条件を，実技「舞踊又は陸上運動」，理論なし（7月）
- ・寺本先生着任（10月，純増さき），歓迎会（忘年会）
- ・教授人事（永田）9月から10月に延期（教授会），助教授人事（純増あと）9名応募有り（9月），その後全員不合格，再公募に（2月，人事委で）
- ・教授人事，1名合格としたが，応募を辞退された（11月），再公募に
- ・教授再公募，「教授」，マル合，「体育科教育」に（1月）（この時，教科教育に，講座内移籍希望を募ったが，誰もなし）
- ・助教授再公募，「助教授，講師，助手」と職種をひろげる
- ・松井研の備品を講義室に一時避難（年末の実験室水浸し余波より修繕）

#### H15

- ・講座体育学会50周年記念事業，出版，講演，パーティーの三部構想で
- ・SPⅢ集中ゴルフ，奥志賀高原（7月）
- ・講座体育学会50周年記念開催，2月知立セントラルホテル

#### H16

- ・木越先生着任（純増あと）
- ・行財政改革により，国立大学法人愛知教育大学として，新たな体制に
- ・講座代表，松井，副代表，吉田先生（二人で評議員会へ）
- ・附属図書館長，米田先生，附属幼稚園長，野々宮先生
- ・教授応募（永田後任），8名有り，3名にしほる，その後，全員不合格（7月）
- ・「体育科教育」マル合はどうしても要る（欠陥講座ではいけない），外からの招聘がダメなら内から移籍すべき？（9月）
- ・大学院マル合教授の移籍について，一人候補，一人申し出あるも，移籍は一人と投票決定し，講座代表あづかり，話し合い結果，吉田先生移籍に



- ・再々再々公募（永田），専攻内移籍によるマル合補完により，職種を「講師又は助手」と下げ，なお，「体育科教育」を必要とするとした（10月）
- ・学芸四課程から，150名の学生定員を教員養成に移動案が？
- ・鈴木先生，在外でアメリカに（3月）
- ・スポーツ科目2単位化の是非について
- ・初等の生活スポーツ系による，家政学講座との複雑な入試作業解消（系の廃止）
- ・学芸四課程改組について（3月）

#### H17

- ・採用人事（永田），5名応募，3名不合格，2名合格面接に（4月）
- ・愛教大体育学会の再スタート，同窓会的から本来の学会として
- ・スポーツ・健康からの定員振替，10を小へ，10を中へ，10はそのまま残す希望提出（5月）
- ・「新学科/新課程」へ移籍したい教官の申し出を探るも，無し，スポ健10名の行くえ？（10月），その後，スポーツ・健康コースを閉じ，中課程に取り込む（小36，中26，計62名）
- ・福ヶ迫先生着任（10月，永田先生後任，3年余の葛藤解消），美術棟の一研究室に
- ・豊田市，刈谷市，附属高校との連携
- ・次期学長補佐，村松先生，次期附属高等学校長，吉田先生

#### H18

- ・講座代表，野々宮先生，副代表，小笠原先生
- ・大学院院生室の確保について，26名の大所帯となる
- ・学芸四課程の改組（学生定員395から232名）に伴う教育課程の精選
- ・法人化後の課題対応（スリム化，b1をb2化，c1を90分？など）
- ・推薦入試の定員，初等7名，中等5名計12名（後期試験なし，H20あり，同センター試験導入）
- ・附属屋，第二体育館改修，科生用ロッカー撤去，アスベスト工事（7月）
- ・大学院に，小兔取得コース，6年一貫コース，専門職大学院？など複雑
- ・米田先生，文部科学省の生涯体育功労賞受賞

- ・定年教員の再雇用について，その後，松井希望提出，講座内規づくりへ

#### H19

- ・第二講義室隣，小火騒動あり，部屋の利用，管理について
- ・「野外A，B，C」の担当チーフ決定
- ・推薦入試の，出願対象種目を限定した（バスケ，バレー，体操，陸上，水泳（競泳，水球），その後，柔道，剣道，サッカーも），実技能力を課す（4月）
- ・大学院控え室及び教員研究室の一部移動
- ・保健体育棟全面耐震工事（7，8，9月，暗黒，エアコン無しの一夏）

#### あとがき

古き良き時代の穏やか大学時代から，教員需要減にともなう国の方針による大学改革を迫られ，学内をほぼ二分せざるを得なかったときは，苦渋の連続の始まりであった。体育教室からも一緒にやってきた仲間を，数名出すことのつらかった気分は，今でも忘れられない。総合は，課程のままでは不服として，学部，学科構想を捨てきれない動きで，学内のあらゆる場面に軋轢をもたらし，大学は疲弊した。ついで教員養成の学生定員減，はたまた総合からの学生定員の教員養成への揺り戻し，それに伴う再編成，時々刻々と変わる国の指導に振り回されてきたやるせなさが募る。

多くの仲間に巡り会えました。着任時の多くの先輩方が退職され，それ以上に多くの若い先生方を迎えました。人を得ることの難しさ，すんなり決まることもあれば，いったんこじれるとなかなか大変でありました。

法人化になってまだ年が浅く，今後とも何かと大変だと思いますが，保健体育講座の発展を期待し，稿を終えます。

註1）愛知教育大学名古屋分校回顧録編纂委員会；愛知教育大学名古屋分校回顧録，昭和45年3月，今枝印刷

註2）愛知教育大学史編さん専門委員会；愛知教育大学史，昭和50年3月，中日本印刷

## 体育教室教官年表

[illegible]

註、年度で表す、氏名前数字は赴任月、氏名あと（ ）内は、採用時専門科目